

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			療育指導訓練室は2室あります。集団での指導訓練室の他に個々で学習やパソコンに取り組めるスペースが5か所あります。面積も80㎡以上あり十分な広さである。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準を満たしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		玄関外の階段に関しては見守りが必要ですが室内はバリアフリー化している。
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			改善を急ぎすぎず、評価に十分な時間をとり、次の計画がしっかり立てられるよう心がけている。
	⑤	保護者等向け評価票を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			○	H30年4月に外部評価アンケートを実施予定です。今後は定期的の実施していく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上で公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価を行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			非常勤職員を含め、発達障害の理解をテーマにして書物の購入、外部研修に参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			半年ごとに個別支援計画を作成し、保護者と個別に話し合いを行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			診断書や検査結果を保護者から報告、提出してもらっている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			個別支援プログラムを立案し取り組んでる。
	⑫	活動プログラムを固定化しないよう工夫しているか	○			活動、状況に合わせ個々に合わせ発展させている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇は、個々の希望に沿い事業所内での個別支援や集団での工場見学、野外施設などへの外出を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			活動活動と集団活動を、一人一人の課題に合わせてプログラムを組み集中して取り組みやすいよう配慮している。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			週ごとに日案を作成し、常勤、非常勤を含め打ち合わせ時に確認している。	

適切な支援の提供	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○		個別支援記録を記入し、業務終了後もしくは翌勤務時に振り返りを行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		週ごとに日案を細かく作成し、療育方法の打ち合わせ時や支援計画の作成時に活用している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6か月ごとに、児童の成長や新たな課題について、職員間で共有、検討し、内容の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	○		施設内外の活動のバランスに配慮し、社会性を育てることを大きな共通課題としている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		担当者会議には児童発達支援管理責任者が必ず参画するようにしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		担任及び医療関係者などに常に連携を働きかけ、情報共有や連絡調整に努めている。
	㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		医療連携室の担当者の方や医師と児童のことについて相談できる関係ができている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		相談室や児童発達支援事業所などと連携を取り合っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		学校、相談室等、関係機関との情報交換を積極的に行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		専門研修棟に職員全員出来る限り参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか	○		ご挨拶程度だが行っている。教育センター等とも情報交換を行っている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○	自立支援協議会こども部会や相談支援部会に今後参加していきたいと考えている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		電話や連絡帳、送り時を利用して、家庭での様子、施設での様子を共有している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	日々の様子を共有をする中で、保護者の悩みや課題に寄り添うよう努力している。今後はより積極的に行っていきたい。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時にすべて説明し、療育、保育的な活動方針も配布している。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			電話や連絡帳、送り時を利用して把握し、必要に応じて話を聞く時間を設けるようにしている。
	③⑫	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今後は保護者が参画できる取り組みを行っていききたい。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情が発生した時には、職員間で発生原因と改善策を共有し、迅速に対応している。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ホームページやブログにて日々の活動を発信している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			データや個人情報は鍵付書棚に保管している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			先入観や思い込みではなく、子どもの行動の前後の様子から思いを読み取るように努力している。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今後は取り組んでいきたい。
非常時の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各マニュアルを掲示している。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っているか			○	1年に1回目の避難訓練を実施予定。
	④⑰	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止規程を作成し、職員へ周知している。今後は外部研修参加も実施していききたい。
	④⑱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	身体拘束禁止マニュアルは作成済。身体拘束禁止規程を策定し、職員へ周知していききたい。
	④⑲	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			該当する利用者はいないが、必要に応じて医師の指示書等を保護者を介してもらっている。
	④⑳	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例集はありませんが、日々の保育記録に記載するようにしている。他施設の情報については共有している。